

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393600057
事業所名	グループホームえんなり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 利用者は車椅子や散歩で近隣の神社、公園またスーパーにおやつの買い物等で出掛け地域の方々と挨拶を交わし日常的に交流を楽しんでいる。コロナ禍以前は障がい児放課後デイサービスと定期的交流をがあり利用者も楽しみにしており、コロナも終息に向かったので再開を予定している。地域の方々から認知症に関する相談が多数あり管理者が丁寧に説明し信頼を得ている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回開催、前半は書面、7月以降はコロナも落ち着き、通常の会議開催を行った。参加者は区長、民生委員、市役所職員、地域包括支援センター職員、家族代表等でグループホームの現状報告、事故・ヒヤリハットなど報告している。行政側からの感染症対策や事故事例、また区長等からのイベント情報、家族からの要望等、出された意見、要望等を職員会議等で検討してサービス向上に取組んでいる。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は江南市主催の地域密着型サービス管理者会議等に出席して情報収集、意見交換など市担当者と連携を図っている。市担当者とは運営推進会議、認定更新の機会、また電話等で連携をしている。法人母体病院建物内に地域包括支援センターがあり日常的に連携が行われている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議で要望があった年末年始の自宅への送迎、職員の協力のもと実現し喜ばれた。毎月「入居者様状況報告書」で利用者の状況を写真入りで詳しく報告している。家族等に日用品を届けてもらうシステムになっており、そこで面談して苦情、要望等を聞き運営に反映させている。家族等が集まるクリスマス等のイベントもコロナも落ち着き再開を検討している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

備考欄

令和5年度の運営推進会議はコロナ禍のため書面開催であったが7月より通常の会議となった。また二ヶ月に一回定期的に運営推進会議を開催している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	×	×	○	×	×	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	◎							